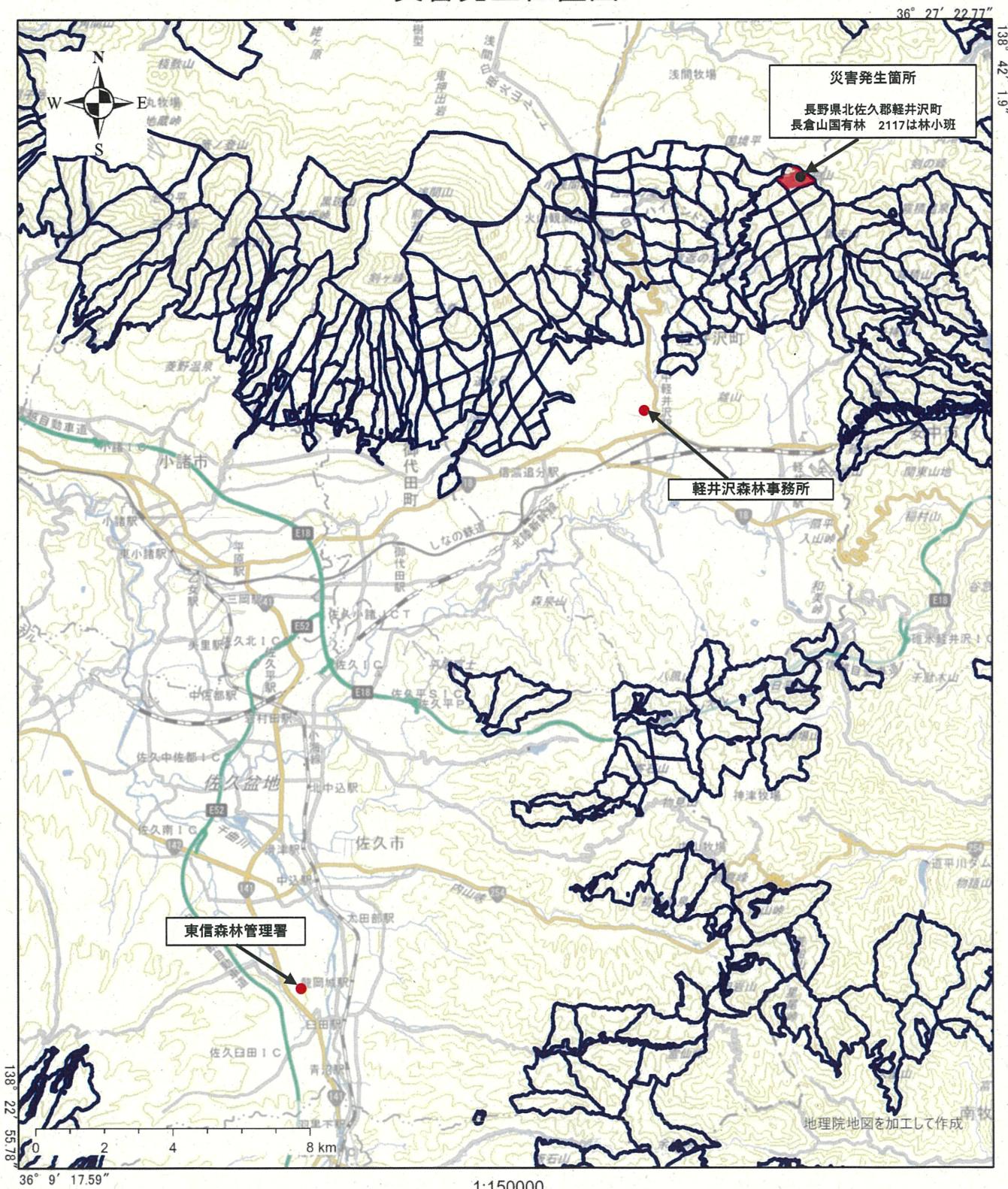


## 請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

1 署等名	東信森林管理署
2 事業の種類	造林事業（森林環境保全整備事業（保育間伐活用型 東信6 長倉山1）
3 災害発生日時等	令和7年12月4日（木） 9時00分頃発生 怪我の程度：腰椎破裂骨折 休業見込み：3か月程度
4 灾害発生場所	長野県北佐久郡軽井沢町 長倉山国有林2117は林小班
5 契約相手方	有限会社早川実業
6 事業実行事業体	同上
7 被災者年齢等	年齢：45歳 性別：女性 2の事業の経験年数：1年8ヶ月 雇用区分：正社員 社会保険等加入状況： <input checked="" type="checkbox"/> 労災 <input checked="" type="checkbox"/> 雇用 <input checked="" type="checkbox"/> 健康 <input checked="" type="checkbox"/> 厚生 <input checked="" type="checkbox"/> 林退
8 従事作業	伐倒作業
9 災害概況	<p>当日、被災者は同僚4名（それぞれ同僚A、同僚B、同僚C、現場代理人という。）と間伐作業に従事していた。</p> <p>7時00分、5名でミーティングを行い、同僚Aは部品調達のため現場外へ出発、残りの4人で作業場所の確認を行い、各自作業場所へ向かった。</p> <p>8時00分より同僚B、C及び被災者は各自50m以上離れて伐倒作業に従事。現場代理人も離れた場所で機械造材作業を行うこととした。</p> <p>9時00分頃、被災者が伐採したカラマツA（胸高直径推測14cm、樹高推測14m）が、隣接していたカラマツB（胸高直径31cm、樹高20m）に対しかかり木状態となった。被災者は状況を確認するためカラマツBに近づき、「あとで重機によって対処しよう」と判断、カラマツA（かかり木）から目を離し次の伐採対象木に向かって移動しかけたところ、かかり木のカラマツAが被災者の方へ倒ってきて、被災者の腰に当たり受災した。</p> <p>9時15分頃、被災者付近の場所からチェーンソーの音が聞こえない事が気になった同僚Bが様子を見に行き、伐倒木に抱き着くようにうずくまっている被災者を発見。被災者は「腰が痛い」ということのみを訴えた。被災者は自立歩行が困難であったことから、同僚Bはすぐに無線にて現場代理人やほかの同僚に連絡した。同僚Bと駆け付けた同僚Cが支えながら会社の車両に乗せて被災者を休憩させ、被災者以外は作業に復帰した。</p> <p>12時00分、同僚B、Cと現場代理人が昼休憩に車に戻った際、被災者は、「おそらくギックリ腰だと思う。休んだら治る。」と発言。（現場代理人は被災者が元看護士で腰痛持ちであることを知っていた。）</p> <p>被災者はそのまま車内で休み、15時00分頃、同僚とともに宿泊地へ移動した。</p>

	<p>翌日になっても腰の痛みが消えないことから、被災者は整形外科を受診。レントゲン検査で炎症が起きていると言われ、自宅で静養することとなった。</p> <p>通院しつつ静養して様子を見ていたが腰の痛みが引かないことから、12月15日に別の病院でMRI検査を実施、骨折していることが判明。同日、信州大学病院に緊急入院し「腰椎破裂骨折」と診断され、12月18日に手術が行われた。(現在リハビリ中で休業3か月の見込み。)</p> <p>なお、被災者は12月25日になって初めて怪我の原因について「細いかかり木が当たったのかもしれない」と現場代理人に発言しており、それまで会社側は被災者の入院は私病によるものだと認識していた。</p>
10 その他特記すべき事項	<p>令和7年12月26日 東信署へ災害発生報告</p> <p>令和8年1月5・6日 東信署へ事故経緯の報告</p> <p>令和8年1月7日 代表取締役東信署来署及び説明</p> <p>令和8年1月7日 小諸労働基準監督署へ労働者私傷病報告を提出</p> <p>令和8年1月8日 専務、現場代理人、同僚B、同僚C、東信署総括森林整備官、軽井沢森林整備官により現場検証を実施</p> <p>令和8年1月16日 社内において再発防止対策会議(再発防止に向けた安全指導、連絡体制や情報共有の徹底)を実施</p> <p>令和8年1月26日 代表取締役が東信署へ「請負災害再発防止対策」を報告</p>

## 災害発生位置図

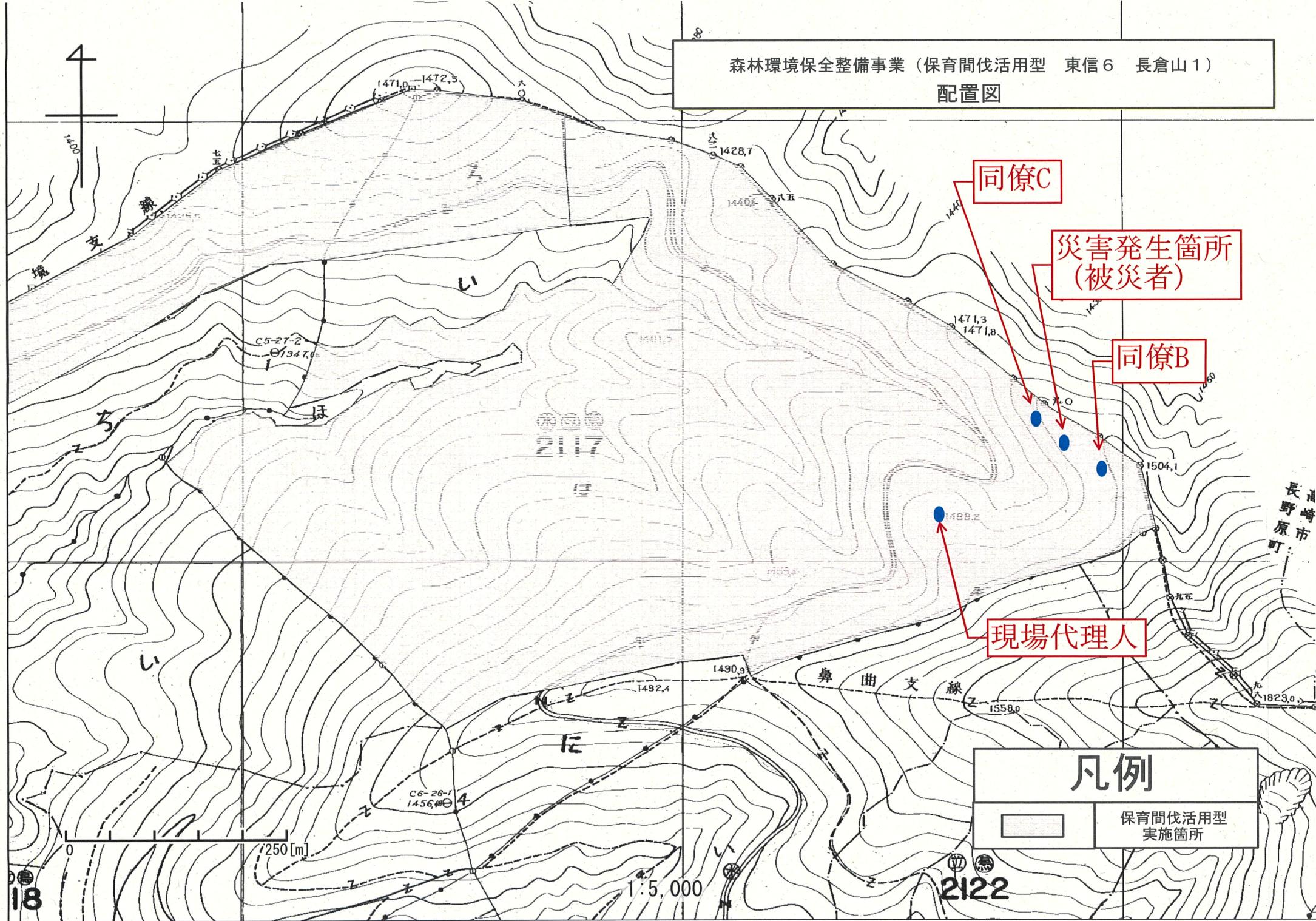


□ 国有林

	各機関	距離 (km)	時間 (分)
災害発生箇所 からの 距離及び時間	東信森林管理署	44.67	60
	軽井沢森林事務所	20.47	31

森林環境保全整備事業（保育間伐活用型 東信6 長倉山1）

配置図



カラマツB(胸高直径:31cm、樹高20m)

被災時の状況

斜距離3m

斜距離5m

カラマツA(胸高直径:推測14cm 樹高:推測14m)  
かかり木

山側から撮影

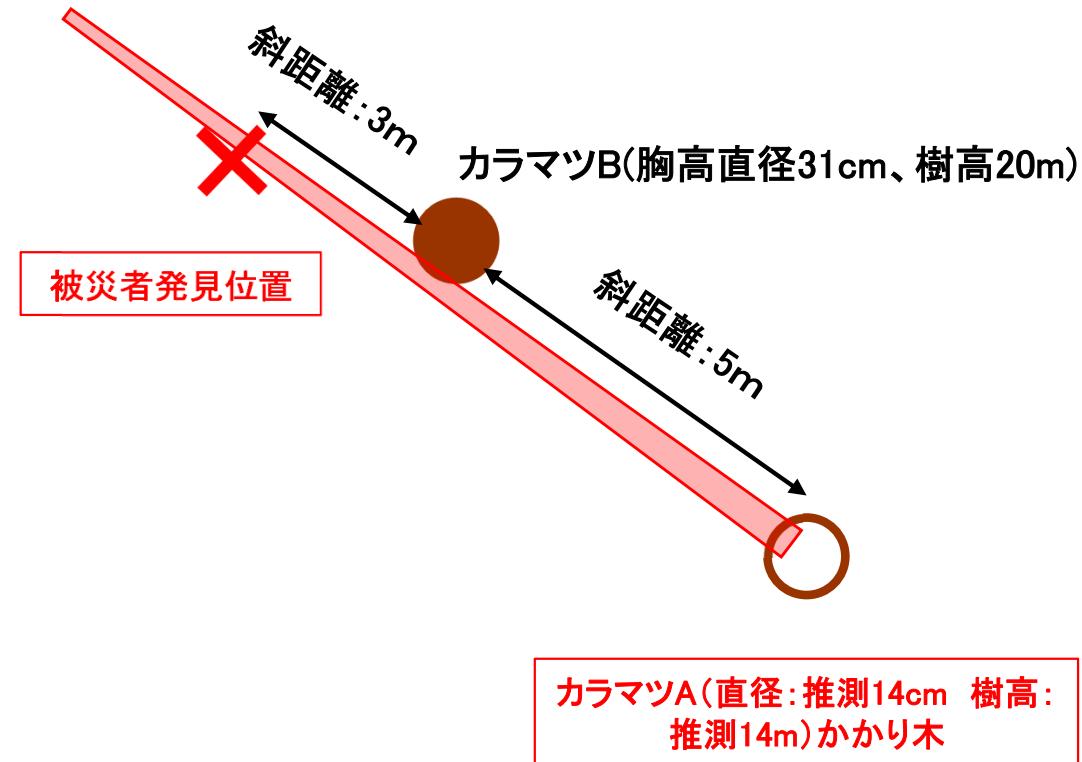
カラマツB(胸高直径31cm、樹高  
20m)

被災者発見時の状況

カラマツA(胸高直径:推測14cm  
樹高:推測14m)  
かかり木

## 配置図

【山側】



森林作業道

【谷側】

谷側から撮影



伐倒(かかり木)時に折れた思われる枝がある

